GEM+nabPTX療法

	Day1	8	15	28
グラニセトロン®1mg+デキサート®6.6mg 15分で投与	↓	↓	↓	
生理食塩液50mL　全開で投与	↓	↓	↓	
生理食塩液　必要量 + nabPTX　125mg/m² 30分点滴静注	↓	↓	↓	
生理食塩液50mL　フラッシュ用	↓	↓	↓	
生理食塩液100mL + GEM　1000mg/m² 30分点滴静注	↓	↓	↓	
生理食塩液50mL　フラッシュ	↓	↓	↓	

1サイクル28日

nabPTXはフィルター禁止

※骨髄抑制の具合により
day8スキップとなる頻度が高い

・膵臓癌に適応あり

・GEMは60分投与で骨髄抑制増強の報告あり、必ず30分で投与

副作用

骨髄抑制、末梢神経障害、口内炎、発疹、倦怠感、脱毛、血管痛。

※脱毛は100%起きるため女性にはNSよりウィッグ等の話あり

・吐き気はlow risk薬剤にて2剤併用(当院の制吐対策参照）。

→あまり吐き気の訴えはない印象

・制吐剤の影響もあり、点滴当日・翌日は便秘となる頻度が高い。

アブラキサン®の末梢神経障害

・総投与量に依存し高頻度で現れる。指先の感覚異常から始まる。

※オキサリプラチンのような寒冷にともなう症状はない

・対応：確立された予防法や治療はない。基本は減量、休薬。

→当院ではnabPTX投与前よりグローブを用いた圧迫療法を施行

（圧迫することで手指への血流低下をはかり、末梢神経障害発現率を下げる）